

武蔵関駅まちづくり ニュース

令和2(2020)年3月

西武新宿線の連続立体交差化計画が進んでいます！

東京都や練馬区等は、西武新宿線(井荻駅~西武柳沢駅間)の連続立体交差化計画や駅前広場計画を進めています。

連続立体交差化計画の概要

この計画によって計19ヶ所の踏切が除却され、交通渋滞の解消や、道路と鉄道それぞれの安全性の向上が図られます。なお、鉄道の構造形式は“高架方式”で計画しています。

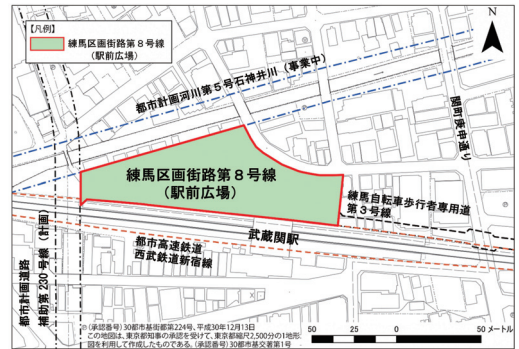
○平面図(武蔵関駅付近)



- 鉄道(計画線)
- 鉄道(現在線)
- 鉄道付属街路・特殊街路
- 河川等
- 区市境
- 都市計画道路(事業中・完了)
- 都市計画道路(計画)
- 区画街路
- 工事で使用の可能性がある範囲

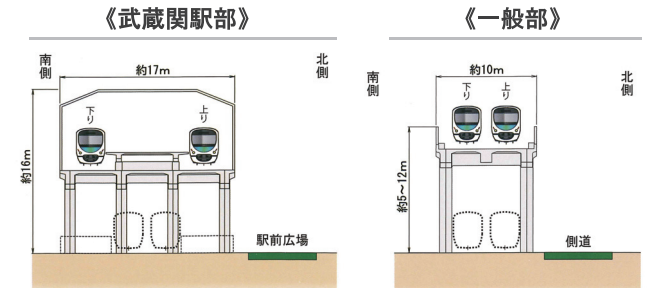
出典:「西武鉄道新宿線(井荻駅~西武柳沢駅)連続立体交差化計画について」(H31.2 素案説明会資料)

駅前広場計画の概要



出典:「武蔵関駅の駅前広場について(練馬区画街路第8号線)」(H31.2素案説明会資料)

○標準横断面図



出典:「西武鉄道新宿線(井荻駅~西武柳沢駅)連続立体交差化計画について」(H31.2 素案説明会資料)

東京都や練馬区等は、今後都市計画案および環境影響評価書案の説明会の開催を予定しています(※)

※令和2年3月4日~7日に予定していた説明会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむを得ず延期となりました。開催時期が決まり次第、改めてご案内します。



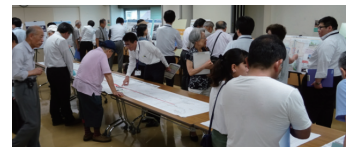
環境影響評価って何？

環境影響評価とは、騒音・振動、土壌汚染、日影、電波障害、景観、史跡・文化財、自然との触れ合い活動の場、廃棄物などから項目を選定し、事業の実施が環境に及ぼす影響を予測・評価するとともに、環境保全のための措置を検討し、措置がとられた場合の環境影響について評価することです。

事業者は、これらの予測・評価等をまとめた環境影響評価書案を示し、説明会等で地域の方の意見を伺いながら環境影響評価書を作成・公表する等、条例に基づき環境保全のための適切な措置を講じます。

計画の内容は今後も丁寧に説明していきます！

練馬区では、今後もオープンハウスなどを開催し、連続立体交差化計画や駅周辺のまちづくりについて丁寧に説明していきます



▲前回のオープンハウスの様子

武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会の活動を再開します

平成22年度に設立された武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会では、まちづくりの目標や駅前広場の整備の必要性等、様々な検討を行ってきました。

連続立体交差化計画や駅前広場計画等の都市計画手続きが進む中、駅周辺のまちづくりをさらに促進するため、まちづくり協議会を再開し、武蔵関駅周辺地区にふさわしいまちづくりの具体的なルール等について話し合っていきます。

- 検討内容 : 良好な街並みや賑わいの創出につながるまちづくりのルール、土地利用の方法等
- 構成メンバー : 町会・商店会等から推薦された方、公募の方
- 活動期間 : 令和2年7月から2年間程度を予定
(1年に5回程度)



区域図

若干名
追加募集

まちづくり協議会新規メンバーを募集します

～まちづくり協議会を再開するにあたり、新規公募メンバーを若干名追加募集します～

- 応募資格 : 武蔵関駅周辺地区(右上図参照)にお住まいの方、営業されている方
土地・建物の権利をお持ちの方
- 募集人数 : 若干名 ※ただし、地域のバランスや年齢等を勘案し、選考させていただきます。
- 応募締切 : 令和2年4月17日(金)
- 応募方法 : このニュースのお問合せ先に4月10日(金)17時までに電話でご連絡ください。
後日、応募用紙を郵送しますので、必要事項を記入のうえご返送ください。

武蔵関駅 北口駅前街区 ～まちづくり勉強会を開催します～

令和2年度より、区では武蔵関駅北口駅前街区(右範囲図参照)に、土地・建物を所有する方々によるまちづくり勉強会を開催します。勉強会では、将来の土地利用などについて検討します。これに先立ち、令和2年1月に準備会が開催され、15名の権利者が参加し勉強会の開催趣旨や目的等について確認しました。



勉強会では、活気と魅力のある駅前づくりを目指し、まちの将来イメージや共同建替えの可能性について検討していく予定です。

● お問合せ先 ●

練馬区 都市整備部 新宿線・外環沿線まちづくり課
☎ 03-5984-1278(直通) 担当: 小板橋・飯野・加藤